

第1回 門真市幼児教育振興検討委員会 議事録

今、就学前教育の重要性が指摘されており、国においても中央教育審議会幼稚園教育部会で、幼稚園教育の方向性等が議論されております。

幼児教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う上できわめて重要であり、本市におきましても、幼児教育の現状と課題を見定め、今後の方向性を明確にし、取り組みを進めていく必要があります。そのため、門真市幼児教育振興検討委員会を設置し、検討をしています。

第1回門真市幼児教育振興検討委員会の議事の要点は、次のとおりです。

開催日時：平成19年8月30日(木)午後3時～4時30分

会場：市役所第2別館 第1会議室

出席委員数：12名/12名中

検討委員会委員名(あいうえお順)

足立喜美夫委員 井上美智子委員 大西宏幸委員 小林美鈴委員
鈴木有美委員 田中祥子委員 早川勝廣委員 東口正委員
堀井二実委員 堀井みち子委員 増田暁美委員 増田洋子委員

事務局

中野学校教育課長 塚本保育課長補佐(代理出席・小倉課長) 松岡教育総務課長補佐 阪上学校教育課長補佐 谷口学校教育課副参事(欠席)
満永学校教育課副参事

1. 教育長挨拶
2. 委員紹介
3. 委員長・副委員長選出と挨拶
事務局から早川勝廣委員を委員長に、堀井二実委員を副委員長に推薦(異議なく、早川委員長・堀井副委員長が就任)
4. 教育委員会諮問
5. 議長・副議長選出
規則により、早川議長・堀井副議長が就任

議 事

1. 会議の運営方法について
事務局：門真市の「審議会等の会議の公開に関する指針」の規定についての説明・提案
議長：会議の運営について、3点確認していきます。1点目の会議の公開・非公開については、原則として公開する。ただし、第2回目会議以降については、審議事項が非公開事項に抵触すると見込まれるものについては、審議に入る前に一部又は全部について非公開にするかどうかは、議長が委員会に諮って決定する。このことについて、いかがでしょうか。

全委員：それで結構です。

議長：2点目は、議事録の形態・とり方についてであります。発言者については、役職名のみ掲載し、内容・主旨は事務局が責任を持ってまとめる。またある程度、語句は整理して要約した形で記録する。このことについて、いかがでしょうか。

全委員：異議ありません。

議長：3点目ですが、そのようにして事務局がまとめた議事録についての委員会の承認の方法の件であります。事務局がまとめた議事録案を委員長が修正も含めて確認し、公開の許可を与える。そして委員の皆様方には、次回の会議でその内容を配布して、お示ししていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

全委員：異議ありません。

事務局：公開となりましたので、「公開のルール」を定めさせていただき、今回の案内に同封させていただきます。会議録の公開については、市の情報コーナー等を通じて行います。なお公開の時期については、会議後約1ヶ月以内を目途とさせていただきます。

2. 門真市の幼児教育の現状と課題について

事務局：門真市の幼児教育の現状と課題について申し上げます。公立幼稚園をはじめとする本市の幼児教育の経緯でございますが、門真市の公立幼稚園は、人口急増期の昭和43年、門真幼稚園が設立され、昭和52年の大和田幼稚園まで8園が設立されました。

公立幼稚園における園児数は、昭和52年の1117人をピークに減少し、昭和59年には338人となりました。この幼児数の減少を受け、昭和58年に「門真市幼児教育振興検討委員会」を発足し、「門真市における公立幼稚園の今後のあり方」について検討を行いました。翌年、検討委員会より幼稚園再編や2年保育等に関する内容の答申を受け、昭和63年に門真・沖・古川橋・二島幼稚園の4園を廃止し、現在の4園となりました。また、その年から2年保育を開始し、その後19年間、今の4園で幼児教育を推進してまいりました。

公立4園のここ5年間の園児数の推移ですが、平成15年が362人、16年が356人、17年が305人、18年が275人、19年が285人となっており、減少傾向のあります。一方、本市の私立幼稚園は、現在8園あり、幼児教育の振興に対して、深い理解と認識でもって貢献され、今日まで公私立幼稚園が共々にその重要性に立って、市民の要望に応えながら経過してまいりました。

また、門真市の保育所は、公立が7カ所、私立が9カ所あり、平成19年5月1日現在、0歳から5歳までの幼児が722名、私立に1164名入所しており、その入所率は100%を超えている状況にあります。保育所も幼稚園同様、本市の幼児教育の一翼を担っております。次に幼稚園の現状でございますが、近年、幼稚園においては、社会の急激な変化の中で、保護者の子育てに対する悩みや不安が増大し、それらが幼稚園に数多く持ち込まれる傾向にあります。また、本市にお

いても家庭や地域社会の教育力は低下の傾向にあると見られ、保護者の悩みの相談場所が少ないことなどから、地域においても子育ての課題が多くなり、本市の公立幼稚園でも、未就園児の保育体験や園庭・園舎の開放、子育て情報などさまざまな子育て支援を実施しています。最後に本市の幼児教育の課題について申し上げます。

門真市における幼児数の推移を見ますと、平成10年度には0歳から5歳までの幼児は8970人、今年度は6901人となっており、23.1%減少しています。少子化は今後も一層進むことが予想されます。本市の公立幼稚園の就園率は約6割で、まさに少子化のあおりを受けていることは否めません。充実した幼稚園教育がなされるための適正な規模・配置について検討しなければならないと考えております。一方、本市の財政状況は平成22年から23年にかけてどん底になるものと予測されております。このような厳しい状況の中で、公立幼稚園運営のあり方についても検討していかなければならない時期にきていると認識しております。

次に幼稚園と保育所の連携についてでございますが、制度の異なる施設であることから、進んでいるとは言えない状況です。しかしながら、保護者の多様なニーズ、多様な就労形態、生活様式があることから、幼稚園と保育所はそのような時代の動きを取り入れていくことが求められています。どういう形で連携することが望ましいのか、検討していく必要があると考えております。

また、幼稚園と小学校との連携については、児童と幼児が交流する取り組みはなされているものの、系統だった取り組みとは言えず、年中行事に特化されているのが現状です。今後、幼稚園教育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることにについて、教員も認識を新たにし、どのように連続性を確保していくのかということも検討していかねばとと考えております。

以上、本市における現状と課題を申し上げます。

議長：保育所について、入所率はどうなっていますか。

事務局：地域格差はありますが、入所率は100%を超えています。待機児童は、年度途中で若干出てくる程度です。また、簡易保育所は11カ所あります。

議長：公立幼稚園での3年保育についての計画は、どうですか。

事務局：今のところ、実施するまでには至っていません。

委員：市の財政状況も厳しいと聞いています。そういった状況の中で財政負担の軽減という面から考えますと、公立の保育園・幼稚園の民営化も視野に入れながら話を進めていくべきではないでしょうか。また、市の幼稚園・保育所の窓口を一本化もすべきではないでしょうか。

議長：この委員会では、財政面もさることながら、子どものための豊かな教育環境を保障することとの兼ね合わせの議論をしていくことになるだろうと思います。窓口一本化のことも、きちんと議論していくことが必要であるかと思えます。

- 委員：「子育て支援」ということがよく言われますが、この機会に言葉の定義や方向性をはっきり聞かせて欲しいと思います。
- 議長：子育て支援がどの方向に向かって、誰のための支援なのか、園運営全体の問題として、あらためて整理していく必要があると思います。
- 委員：この検討委員会を機会に、今後の幼稚園のあり方を深く考えていきたいと思います。
- 委員：公・私立それぞれに良さがあり、いろいろな立場での幼稚園のあり方があってもいいと思います。わが子もお世話になりましたので、いっしょに議論させていただきたいと思っています。
- 議長：本日、資料として用意されている「中央教育審議会答申」の概要ですが、文部科学省の就学前教育に対する姿勢を示すものとして、まとまった提言となっていますので、一度読んでおいていただき、今後の会議に生かしていければと考えております。
- その中で1つの柱として、小学校と幼稚園施設等の連続性の問題があります。本委員会の構成をみますと小学校の代表がいませんので、場合によっては、情報交流の機会があってもいいかと思っています。
- 委員：幼児教育をとりまく門真市の状況を、もう少し知りたいと思います。そこで人口の予測、幼児数の推移や財政的な面、地理的な様子など、数値的なデータで表したものを次回以降の会議に用意していただけますでしょうか。
- 議長：今日は、事務局から門真市の幼児教育の現状と課題について報告があり、大枠の状況や流れがつかめたところであります。そこで今、例えば公立幼稚園の定員と充足率など数値が出される中で、公立幼稚園が抱えているさまざまな問題などももっと明確な姿がわかってくると思われれます。
- ところで、公立幼稚園側から見た門真市の幼児教育の現状と課題について、現場からの声としてご提案していただくことも必要だろうと思われれます。次回、公立幼稚園からご報告いただくとありがたいと考えております。よろしくをお願いします。
- 事務局：今後の予定は、検討委員会を1ヶ月ないし2ヶ月に1回の割合で開催したいと考えています。次回は11月1日（木）3時より、門真市教育センターで行う予定です。どうぞよろしく、お願い致します。
- 議長：それではこれで、第1回門真市幼児教育振興検討委員会を終了します。

以上で第1回検討委員会終了